

いい旅 いい仲間

株式会社
富士国際旅行社
FUJI INTERNATIONAL TRAVEL SERVICE
since 1964

2024

vol.75

いい旅いい仲間

vol.75

2024年1月15日 発行

発行：株式会社 富士国際旅行社
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7

ヒューリックみなとみらい11F-4 ☎045-212-2101

旅行業務スタッフ募集

平和・環境・福祉などの視察と交流の旅、自然・芸術・歴史にふれる感動の旅など、ほんものの旅づくりにチャレンジしてみませんか？

正社員募集

旅行業務全般（企画営業・手配・添乗）

①2024年4月から働ける方

②2025年3月卒業見込の方（新卒）

◆第一次応募締切：②2024年5月15日

◆履歴書・自己紹介・志望動機（自筆800字くらい）をお送り下さい。

◆会社訪問：随時対応いたします。お気軽にお問合せください。

“シャッターチャンス”
のコーナーで、
富士国際の旅が紹介
されています！

パート・アルバイト募集

旅行業務（電話対応・事務・pc入力など）

◎未経験者可

◎勤務時間：11:00～18:00で要相談

◎時給：1,200円～

◎交通費支給（規程による）

◆まずはメール・お電話でお問い合わせ下さい。

e-mail：henshu@fits-tyo.com TEL：045-212-2101

ラジオ番組
peacelly music
ピースリー・ミュージック
まつのじん(ヴァイオリニスト)と植草ひろみ(チェリスト)がおくる
トークと音楽の1時間
毎週木曜日
◆13:00～◆再放送 21:00～
インターネットで同時にきけます
提供*松野退後援会 協力*聴音楽センター

検索は「ラジオ成田」
スマートフォン、パソ
コン、iPad などから
アクセスできます。

お申込み方法



いい旅いい仲間

観光庁長官登録旅行業第84号 JATA 正会員

発行：株式会社富士国際旅行社® 『富士国際』は当社の登録商標です

TEL 045-212-2101 / FAX 045-212-2201

メール：henshu@fits-tyo.com

<営業日>月曜～金曜（10:00～18:00）土日祝休み

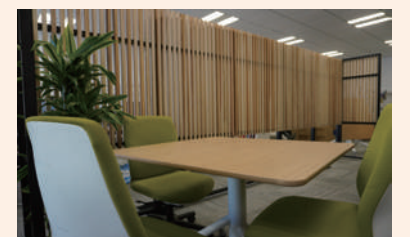
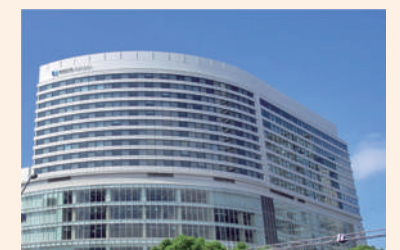
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7

ヒューリックみなとみらい11F-4

http://www.fits-tyo.com/ 富士国際旅行社 🔍 検索



facebook、X(旧twitter)
で旅情報を発信中！



CONTENTS

創立60周年によせて	02
目次	03
スイスツアー特集	04~05
南京事件と新聞報道	06
ちひろの足跡を訪ねて、中国東北部へ	07
和解と共生のための日韓東学紀行	08
韓国ツアー特集	09
台湾・与那国・石垣島ー平和のための市民交流の旅	10
沖縄のいまを知る旅	11
脱植民地化への連帯を育む旅 (グアム、サイパン・テニアン、フィリピン)	12~13
ラオスツアー／ピースセルプロジェクトシリアレポート	14
コスタリカ・ベトナム	15
ウクライナ支援のいま	16
アウシュビッツを訪れるポーランド／川成先生連続講座	17
マルクス・エンゲルスの足跡をたどる旅(ベルリン・オランダ)	18
ハワイネイチャーツアー・ブラハの春音楽祭	19
テーマのある旅 国内	20~21
山歩き・自然ツアー	22~23

創立60周年によせて

今年2024年10月、弊社は創立60年を迎えます。お蔭さまで資本系列もなく旅行業を本業とする専門旅行社の弊社が、観光庁長官登録旅行業15番目登録の伝統ある会社になりました。中小企業として存続していることは、お客様、ご協力の皆様の支えがあってこそです。いつも多大なるご愛顧に感謝いたします。

2019年12月に始まったコロナ禍が5年目を迎えます。行動規制はなくなりましたが、日本人の海外旅客数は回復していません。円安が進行し、1ドル110円前後で推移していた19年から40円近く下落し、航空運賃、滞在費はコロナ禍前より高騰しています。ウクライナ戦争、ガザ問題も旅行需要の回復を妨げています。しかし、コロナ禍で行けなかった海外に足を伸ばすと、世界が大きく変わりつつあることに気づかされます。ユネスコ学習権宣言の中に「もし、わたしたちが戦争を避けようとするなら、平和に生きることを学び、お互いに理解しあうことを学ばなければならない」とあります。混沌とした状況が続きますが、「生きる」ことは「学ぶ」ことです。60年の経験を活かし、以下の経営理念に基づく旅を提案させていただきます。

経営理念

富士国際旅行社は、旅行業務をつうじ、平和な世界、
民主的な社会の実現に貢献し
健康で文化的な旅行・レジャーの発展をめざします

Peace Green Humanity

戦争のない、地球環境や弱者の生命や権利が守られる世界をめざします
平和、環境保護、人権福祉の事業や運動を応援します
戦争、環境、福祉、教育をテーマとする視察や見学を提案します

旅は

うるおいのある暮らしと、活力のある仕事と暖かい家庭を生み出し
人と人の新しいネットワークをつくります
旅は、平和で、豊かで、文化的な社会を育みます。
富士国際旅行社は、そんな旅づくりのお手伝いをします

スイスリピーターの方におすすめ！
アレッチ氷河・絶景のアルプスをゆっくり歩く 10日間

03

2024年6月30日(日)～7月9日(火) 10日間

旅行代金 860,000円 燃油別途 募 10名 催 6名 添

- ◇日本ではあまり知られていないヴェルピエに滞在。3000m級の展望台へもご案内
- ◇アレッチ氷河末端のリゾートでダイナミックな氷河眺望のハイキング
- ◇マッター谷の静かな村・グレヒエン。シュタインボックの住むハニックアルプ展望台へ

旅程

- ①成田発、直行便または経由便でチューリッヒへ 列車でフィスプへ【フィスプ1泊】
- ②列車でリゾートの町ヴェルピエへ。モンフォー展望台【ヴェルピエ2泊】
- ③ルイネットからサボワールへパノラマ道ハイキング
- ④アレッチ氷河末端の町ベットマーアルプへ。ベットマーゼー周辺の軽ハイキング【ベットマーアルプ3泊】
- ⑤フィッシャーアルプへ歩き、ロープウェイでエッグスホルンと山頂へ
- ⑥モースフルー展望台よりリーダーフルカへハイキング
- ⑦列車でグレヒエンへ。【グレヒエン2泊】
- ⑧ハニックアルプからスタッフェル経由でグレヒエンへハイキング
- ⑨バス・列車でチューリッヒ空港へ、直行便または経由便でチューリッヒ発帰国の途へ【機中泊】
- ⑩成田着



少人数で実施！
ゆったりハイキング！

Switzerland

スイスの旅特集

スイス建国記念日に静かな山を楽しむ
レッチェンタールハイキング 9日間

04

2024年7月29日(月)～8月6日(火) 9日間

旅行代金 875,000円 燃油別途 募 10名 催 6名 添

- ◇なまはげの谷レッチェンタール&氷河の村サースフェーに各3連泊
- ◇レッチェンタールの岩峰ピーチュホルン展望の道とアンネン小屋へのハイキング
- ◇アルプスの真珠サースフェーで野生動物や高山植物に出会うハイキング
- ◇8月1日のスイス建国記念日を現地で過ごします

旅程

- ①成田発、直行便または経由便でチューリッヒへ 列車でトゥーンへ【トゥーン1泊】
- ②午前：湖畔の町トゥーンを散策。レッチェンタールへ【レッチェンタール3泊】
- ③ラウヒャーンアルプ・ファーフラールアルプへ ピーチュホルンやヴァイスホルン展望のハイキング
- ④谷奥のアンネンヒュッテ往復ハイキング スイス建国記念日
- ⑤午前：氷河の村サースフェーへ 午後：ハニック展望台からメリックへ往復ハイキング【サースフェー3泊】
- ⑥迫力のある氷河を間近に見れるレンクフルー展望台。シュピールボーデンからのハイキング。
- ⑦夏スキーのゲレンデや360度の眺望・ミッテルアリアン展望
- ⑧バス・列車でチューリッヒ空港へ、直行便または経由便でチューリッヒ発帰国の途へ【機中泊】
- ⑨成田着



毎

夏スイスの山や花に会えるのが当たり前と思っていたのが、突然のコロナ禍で渡航がままならなくなって2度の夏が過ぎました。3度目の夏となった昨年は念願のスイス、数は少ないながらもツアーが催行されました。3年ぶりのマッターホルンやアイガー、春のオキナグサから始まって、エンチアン、アルペンローゼ、エーデルワイスなどのおなじみの花たち、ラクレットやフォンデュなどのスイス料理、変わらずにホテルに飾られていた宮本和郎先生の絵画の数々、ホテルのスタッフの笑顔。全てが変わらずにそこにいてくれました。アイガー北壁に迫るアイガーエクスプレスの開通などリニューアルされた乗り物もあり、ワクワクすることもありました。この夏は「春のフラワーハイキング」からスタートし、昨年より企画も増え、スタンダードなコースから、よりゆったりとアルプスを楽しめるコースもあります。久しぶりの方も初めての方もスイスの花や山に会いに行きませんか？多くの方のご参加をお待ちしております。(筒井 佐知子・ツアーコンダクター)

スイス・インターナショナル・エアラインズ直行便利用！
春のフラワー・ハイキング①②

01

①2024年6月11日(火)～6月20日(木) 10日間

②2024年6月23日(日)～6月30日(日) 8日間

旅行代金 ①860,000円②798,000円 燃油別途 募 12名 催 6名 添

- ◇スイスに来たらまずここ！マッターホルンとアイガー（ユングフラウ三山）の眺望コース
- ◇アルプ（牧草地）の花が満開の季節 キンポウゲやオキナグサの咲き乱れる季節
- ◇ツェルマットとミューレン連泊！ゆったりとした日程で無理なくハイキングを堪能
- ◇花の楽園ロープホルン・ヒュッテへのハイキング 三山の眺望とヒュッテの食事を堪能
- ◇ミューレンでは、日本画家・宮本和郎先生が長年描いてきたスイス絵画を鑑賞



旅程<①10日間コースの場合><②8日間コースの詳細はお問合せください>

- ①成田発、直行便でチューリッヒへ 列車で首都ベルンへ【ベルン泊】
- ②マッターホルン麓の町・ツェルマットへ【ツェルマット3泊】
- ③登山列車で展望台ゴルナーグラートへ・逆さまッターホルンの湖リッフェルゼーへ
- ④展望台クラインマッターホルンへ シュワルツゼーからフォーリまでのハイキング
- ⑤アイガー展望の町ミューレンへ【ミューレン4泊】
- ⑥スルワルドからロープホルンヒュッテへ お花畑の中を往復ハイキング
- ⑦グリンデルwaldの谷に下り、アイガー北壁に迫るアイガーエクスプレスのアイガーグレッシャー駅へ、クライネシャイデック
- ⑧ケーブルカーで展望台アルメントフォーベルに上り、花の谷、ノース・フェイストレイルを下りミューレンへと戻るフラワーハイキング
- ⑨列車でチューリッヒ空港へ、チューリッヒ発帰国の途へ【機中泊】
- ⑩成田空港着

ジャーナリスト・伊藤千尋さんと行くスイス
チャップリンゆかりの地とハイジの舞台を訪ねる旅 8日間

02

旅行期間 2024年6月23日(日)～6月30日(日)

旅行代金 845,000円 燃油別途 募 20名 催 10名 添

- ◇喜劇王チャップリンが晩年を過ごした邸宅、チャップリンワールド、ゆかりのワイナリーを訪問
- ◇アイガーを始め三名峰を望むミューレンに連泊しスイスの大自然を満喫。
- ◇『アルプスの少女ハイジ』原作の舞台「マインフェルト」に滞在！

旅程

- ①成田発、直行便でチューリッヒへ 列車でローザンヌへ【ローザンヌ2泊】
- ②チャップリンゆかりの地見学（ワイナリー・チャップリンワールド）レマン湖遊覧
- ③列車を乗り継いで、3名峰の村ミューレンへ【ミューレン2泊】
- ④アイガー・メンヒ・ユングフラウ3山展望のハイキングコース
- ⑤列車を乗り継いで、ハイジの舞台・マインフェルトへ【マインフェルト2泊】
- ⑥ハイジドルフからハイジアルプへのハイキング
- ⑦列車でチューリッヒ空港へ、チューリッヒ発帰国の途へ【機中泊】
- ⑧成田着



いわさきちひろ没後 50 年企画 ちひろの足跡を訪ねて、中国東北部へ

私は、「いわさきちひろの足跡を訪ねる中国東北部への旅」に、事前調査をふくめて5回参加しています。

ちひろは、どうしても感性が合わなくて好きになれない人と「結婚」を余儀なくされ、夫の赴任先である大連に渡ったのが、1939年。日本が中国東北部を侵略し、「偽満州国」を打ち上げて7年、すでに日中戦争が始まっていました。このちひろの結婚は、どうしても夫婦にならないことに悩んだ夫の自殺という悲劇的結末を迎え、ちひろが帰国したのは1941年。

ところが、ちひろは、敗戦前年の1944年5月にふたたび、中国東北部・勃利の女子義勇隊訓練所に行っています。ちひろの母が、満蒙開拓団・満蒙開拓青少年義勇軍の配偶者（いわゆる「大陸の花嫁」）をたくさん送り出す仕事に携わっていたことと関係が深いのです。勃利に行くときも、花嫁候補の女性たちと一緒にでした。

戦況も厳しくなっており、女子義勇隊訓練所は、住居・食糧事情も悪く、ちひろは心身を壊してしまいました。そんなちひろを救ってくれたのが関東軍の連隊長。しかも、自分が



『南京事件と新聞報道』 書かれていた虐殺の光景

上丸洋一

南京大虐殺を当時の新聞は、どう報じていたのか。それを調べようと私は、東京・永田町の国立国会図書館に通い、八〇数年前の新聞約八〇紙から関連記事を集めた。

従来の研究では、朝日、毎日、読売の全国版が参照されることはあっても、それらの地方版や各地の地方紙まで網羅的に目配りした研究は存在しなかった。

そうして集めた記事をもとに、三年半がかりでまとめたのが拙著『南京事件と新聞報道 記者たちは何を書き、何を書かなかったか』（朝日新聞出版）である。

南京事件については「大虐殺などなかった」といった歴史を歪曲する言説が巷間に流布している。当時の新聞が虐殺について書いていないのは、虐殺がなかったからだ。

確かに捕虜の集団虐殺の場面を詳細に描いた記事は見当たらない。しかし、それは（少し考えれば分かるように）報道統制の結果であって、虐殺がなかったからではない。

では、虐殺を書いた記事が皆無だったかと言えば、それもちがう。南京市街のすぐ北側を長江（揚子江）が流れている。逃げ場を失った中国兵は、対岸へ逃れようと長江に飛び込んだ。

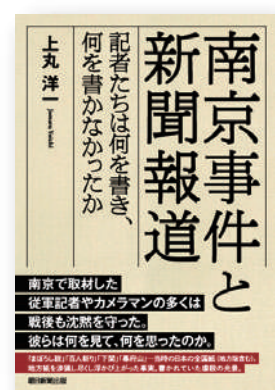
「甲板の機銃、小銃は一斉に火蓋を切った。見れば二間（三・六メートル）位の筏に数十名の敵兵が押しあひながら乗っかっている。バツと揚がった水煙とともに片端から消えて行く。……濁流に呑まれながら流れ行く数万の正規兵のうめきこそは南京陥落の悲しい挽歌だ」（一九三七年二月五日付読売新聞ほか）

無抵抗の中国兵に日本軍は容赦なく銃弾を浴びせた。これが虐殺でなく何なのか。

侵攻当時の記事と、「虐殺はなかった」などという元兵士の戦後の言葉と、どちらが信用できるか。自ずと明らかだろう。

このほか、拙書の論点は多岐にわたる。「一読、ご批判いただけましたら幸いです。」

（じょうまる・よういち・ジャーナリスト）



『南京事件と新聞報道——記者たちは何を書き、何を書かなかったか』
上丸洋一 著
2023年／朝日新聞出版
2,860円（本体2,600円＋税）

南方への転戦を命じられた時に、大変な苦勞をしながら、8月にちひろの帰国を実現してくれたのです。このときちひろが帰国していなければ、ソ連軍侵攻後に東北部に繰り広げられた開拓団などの悲劇に巻き込まれ、ちひろの無事な帰国などありえなかったでしょう。勃利は「大地の子」の舞台となったところですから。しかし、戦争の悲劇は過去のことではありません。現在のガザやウクライナの状況に、本当に心が痛みます。しかも今、日本では、「中国脅威論」を煽って、米軍の指揮のもとの中戦争などを念頭に、戦争の準備と大軍拡が進められています。憲法前文・9条に真っ向から違反する行為です。

こんな時だからこそ、日中の国民どうしの交流や友好が本来に必要なと思います。

ちひろは、世界中の子どもの幸せと平和を願って美しい絵を描き続けました。今年、ちひろが亡くなって50年です。

中国東北部への「いわさきちひろの足跡を訪ねる旅」が実現することを願っています。

私が一緒にできるかどうかは、私の年齢を考えますと、健康状態を見ながらになりますが、その方向をめざして、体調を整える努力をして行きたいと考えております。

平山知子（ひらやま・とも）・弁護士

いわさきちひろの足跡を訪ねる中国東北部への旅 7日間

- 旅行期間：2024年9月9日（月）～9月15日（日）
- 訪問都市：大連・ハルビン・七台河（勃利）
- ポイント：

- ◇『若きちひろへの旅』著者 平山知子先生にご同行いただき、ちひろの絵の原点を解説いただきます（予定）。
- ◇ちひろが渡った「旧満州」をめぐり、満州開拓民の実情を知ります。

後日詳細発表！

ふたたびの中国——南京・上海

長谷川順一さん同行 南京・上海の旅
■旅行期間：2024年11月予定

今年の日清戦争勃発130年の年で、翌年の下関条約により台湾・澎湖諸島を中国（清国）から割譲させました。1932年第一次・1937年第二次上海事変から中国を侵略して日中戦争となりました。今回のツアーは、上海市内では大山中尉殺害現場、四行倉庫抗日戦争纪念馆、天長節事件の尹奉吉梅軒祈念館、阿片王里見甫のピアスパート、そして南京市内では侵華日軍南京大屠殺遭遇同胞纪念馆、南京利濟巷慰安所旧跡陳列館など加害の歴史を、そして蘇州市内の寒山寺、拙政園、留園など中国文化と観光を堪能します。（長谷川順一・靖国神社平和ガイド）

01 濟州4・3の歴史を訪ねる旅 4日間

2024年4月1日（月）～4月4日（木）175,000円
※燃油等別途



募 20名 催 10名 添

- ◆ 濟州4・3追悼式典に参加
- ◆ 4・3平和記念館や記念公園をじっくり見学
- ◆ 濟州市内の4・3関連地をめぐる
- ◆ 濟州島ならではの自然と食もお楽しみに！

- 【旅程】
- ① 関空空港発、濟州島へ、アルトゥル飛行場見学【濟州島3泊】
 - ② 4・3平和記念館見学、前夜祭参加
 - ③ 午前：追悼式典参加 午後：4・3関連地見学
 - ④ 濟州島自然ウォーキング 午後：空路、関空空港着

02 民主化運動の歴史を訪ねる 光州・羅州・木浦の旅 5日間

2024年5月16日（木）～5月20日（月）280,000円
募 20名 催 15名 添 ※燃油等別途



- ◆ 光州民主化運動記念式典に出席、運動の現場を訪ねます
- ◆ 東学農民革命ゆかりの地、羅州を訪ね
- ◆ 金大中元大統領の生誕100年に故郷の木浦でノーベル平和賞記念館や日本植民地時代の街並みを見学

- 【旅程】
- ① 羽田空港発、ソウル着 KTXで光州へ【光州2泊】
 - ② 光州事件関連地見学（望月洞墓地、旧全羅南道庁と噴水広場、錦南路全南大学、5.18自由公園）◎運動体験者の方と交流
 - ③ 国立5.18民主墓地で行われる記念式典に参加
午後：羅州へ（東学農民運動ゆかりの地、東学農民軍犠牲者を悼む謝罪の碑、羅州宮三面抗日農民運動記念碑見学）【羅州泊】
 - ④ 陸路、木浦へ（木浦近代歴史館、金大中の受賞を記念して建てられたノーベル平和賞記念館、木浦共生園見学）【木浦泊】
 - ⑤ 朝、KTXでソウルへ 着後、空港へ 午後：ソウル発、羽田空港着

03 ハンセン病の歴史を考える 小鹿島を訪ねる旅 4日間 募 20名 催 10名 添

2024年8月19日（月）～8月22日（木）180,000円
※燃油等別途



- 【旅程】
- ① 成田空港発 韓国・釜山へ 陸路、順天へ【順天3泊】
 - ② 小鹿島見学（国立小鹿島病院ハンセン病博物館、中央公園 愁嘆場、旧小鹿更生園神社など）
 - ③ 麗水へ、愛養園見学、麗順事件関連地見学、麗水海上ケーブルカー観光
 - ④ 釜山へ、「日帝強制動員歴史館」見学、国際市場、甘川文化村観光 釜山発、成田空港着

2024年歴教協アジアの旅

04

日清・日露戦争130年・120年 日本の植民地支配を韓国で考える 4日間

日本の朝鮮侵略の起点・江華島事件跡地、閔妃暗殺の現場である景福宮、日本の植民地支配がテーマの植民地歴史博物館などを見学します。現地の方々との交流会も計画中！歴教協企画ならではの旅、ぜひご参加ください。

2024年10月12日（土）～10月15日（火）
旅行代金：後日発表

- 【旅程】
- ① 成田空港発、ソウル着、景福宮見学【ソウル3泊】
 - ② 午前：南山フィールドワーク 午後：植民地歴史博物館見学
 - ③ 終日：江華島見学
 - ④ 出発まで自由行動 午後：ソウル発、成田空港着

2023年10月29日夕刻、大韓民国全羅南道羅州（ナジュ）市で市民交流会が開かれていた。10月30日の「東学農民軍犠牲者を悼む謝罪の碑」除幕式に出席するため訪韓した「第18回日韓東学紀行」の参加者28人を歓迎する席だった。交流会の途中で悲報が舞い込んだ。奈良女子大学の中塚明名誉教授が94歳で永眠されたというニュースだった。交流会は、しばし深い沈黙に包まれた。

1929年大阪生まれの中塚先生は、1953年に京都大学史学科を卒業して以来、1960年代から「近代日本における朝鮮問題の重要性」を自覚し、永眠する日まで、日韓関係の研究を通して現代日本の歴史認識を正そうと奮闘した歴史家であった。生前から「日本の良心」として尊敬されていた先生は、1993年に奈良女子大学を定年退職された後も数冊の著書を出版した。その一つが『歴史の偽造をただす』（高文研、1997年）である。

中塚先生は東学農民革命100周年の1994年、福島県立図書館「佐藤文庫」で、東学革命当時日本軍が不法に景福宮を侵略した事実を詳細に記録した「日清戦史草案」を発見した。そして、1904年に参謀本部が刊行した『明治二十七八年日清戦史』に「1

894年7月23日未明、韓国兵士の発砲で応戦した偶発的で小規模な衝突事件」と記述されていた内容が真っ赤な嘘であったことを明らかにし、参謀本部自身が書いた「日清戦史草案」によって参謀本部の公刊戦史が虚偽であったことを立証した。1995年7月、北海道大学文学部の古河講堂人類学教室で、全羅南道珍島（チンド）出身の東学農民軍指導者の遺骨が放置された状態で発見された。真相調査のため、北海道大学に留学中だった筆者は、1997年秋に札幌市で初めて先生に出会った。2001年5月には、全州（チョンジュ）市で開催された「東学農民革命の21世紀的意味」というテーマの国際学術大会に先生を招待して、「無名東学農民軍慰霊塔」などを案内した。

その後、先生は2006年から富士国際旅行社と共に「日韓東学紀行」という踏査プログラムを作り、毎年韓国を訪れた。2014年には全羅北道高敞（コチャン）東学農民革命記念事業会から東学農民革命研究に寄与した功労が認められ、第7回「緑豆（ノクトウ）大賞」を日本人として初めて受賞した。このように先生は、本当に日韓間の和解と共生の道を全身で開いてくださった。

和解と共生のための日韓東学紀行 —中塚明先生を追悼して— 朴孟洙(パク・メンス)

朴孟洙先生同行！

田中正造ゆかりの地をめぐり 足尾銅山鉍毒事件を考える旅

日程：4月14日（日）～15日（月）
旅行代金：45,000円

募 40名 催 20名 添

- 【旅程】
- ① 4月14日（日）東京駅八重洲口発 旧谷中村合同墓地、旧谷中村史跡ゾーン、佐野市郷土博物館、田中正造生家、田中正造記念館【館林泊】

- ② 4月15日（月）足尾銅山関係（車中見学）、龍蔵寺、旧松木村跡（植樹）、雲竜寺、庭田清四郎宅（正造終焉の地）東京駅解散

11月14日、筆者は富士国際旅行社の太田正一社長とともに、京都府木津川市にある先生のご自宅を訪れた。長女の中田さんに謝罪の碑の除幕式を成功裏に終えたとご報告申し上げるとともに、丁寧な慰労の言葉をお伝えした。

今年春、東京で先生を偲ぶ追悼会が準備されているとのことである。日韓市民がともに参加してほしいと願う。先生のご遺志に従い、「日韓東学紀行」も変わることなく継続することを約束申し上げる。

（パク・メンス・圓光大学校名譽教授）

慰霊の日／沖縄のいま・自然・基地問題を知るツアー

「ニュースとかでみたことはあるけど…」
 「忙しくてなかなか知る機会がないんだよな…」
 「知れるなら知ってみたいかも…」
 「沖縄に行くことはあっても、基地問題に触れることはちょっと…」
 「そもそも、なんで沖縄の人たちはこんなに反対しているの？」
 このツアーは、こんなことを思ったことがあるあなたに、ぴったりかもしれません。
 なかなか取っ付きづらい「沖縄基地問題」。
 実際、「沖縄と基地問題」となると、視聴率・閲覧数が取れないんだよな…」と、私（元山）もテレビ局や新聞社に勤める記者から言われたことがあります。
 知るにはちよっとハードル高そうだけど、平日に働いていたらなかなか時間が取れない。そんなあなたに、土日の一泊二日で、その機会をつくれませんかと思ひ、企画してみました。何よりも現場を自分の目で見てほしいとの思いから、座り込みの現場に行ってみる時間も取ります。
 私自身、沖縄の基地問題をより多くの人に知ってほしいと思ひながら、どうやって、という手段を取れずにはいません。そんななか、環境アクティビストで古着屋「DEPT」オーナーのeriさんに「じんくん、沖縄ツアーやってみよ」と声をかけられたことから、このツアーが実現しました。

元山仁士郎 「辺野古」県民投票の会元代表



「辺野古」県民投票の会元代表・元山仁士郎さんとDEPT代表/アクティビスト・eriさん同行ご案内（予定）6月23日「慰霊の日」に沖縄を訪ねる旅

2日間

2024年6月22日（土）～23日（日）
 延泊2泊3日も可！ 羽田以外の空港発着可！

- 【旅程】
- ①午前：羽田発（他空港出発可） 午後：辺野古・安和・大浦湾グラスポート【那覇泊】
 - ②沖縄平和祈念公園で行われる「沖縄全戦没者追悼式」、南部戦跡、不屈館、那覇空港へ。夜：那覇発。【2泊3日の方は、那覇泊】
 - ③＜2泊3日の方：中部基地見学＞鎮守の館、キャンピングザー内「沖縄戦史資料館」、沖縄国際大学、佐喜真美術館、道の駅かでな、浦添西海岸の海「ていだ結の浜」など見学、那覇空港へ 夜：那覇発



日程は、沖縄で1945年に起きた「沖縄戦」を追悼する6月23日。沖縄県外、日本「本土」ではあまり知られていない、「慰霊の日」に合わせています。沖縄で、79年前に起きた戦争のこと、今も続く基地問題を知るのに、最適な日だと思ひます。
 ツアーは、羽田、中部、伊丹、関西、福岡から那覇への発着便を想定しており、関東・中部・関西・九州圏にお越しになれば、どなたでもご参加いただけます。沖縄のいま、自然、基地をみて、いろんなことを感じていただければ幸いです。

4日間 石垣・与那国・宮古3島をめぐる平和交流の旅

①2024年3月17日（日）～3月20日（水）
 ②2024年5月12日（日）～5月15日（水）
 175,000円



◇石垣・与那国・宮古島の3島を訪れ、南西諸島に進む自衛隊配備問題を考えます
 ◇それぞれの島に暮らす方々と交流し、暮らしに及ぼす影響について直接お話を伺います
 ◇島ならではの風景・郷土料理・民謡もお楽しみください

- 【旅程】
- ①羽田空港発、直行便または経由便で石垣島へ、石垣島内見学（戦争マラリア犠牲者慰霊碑、石垣島自衛隊駐屯地、地元の方からのお話）【石垣泊】
 - ②石垣空港発、与那国島着、与那国島内見学と地元の方との交流【与那国泊】
 - ③与那国空港発、石垣島着（八重山平和祈念館）空路宮古島へ、宮古島内見学（宮古島自衛隊駐屯地、憲法九条の碑）【宮古島泊】
 - ④宮古島・伊良部島・下地島見学、下地島空港または宮古島空港発 直行便または経由便で羽田空港へ

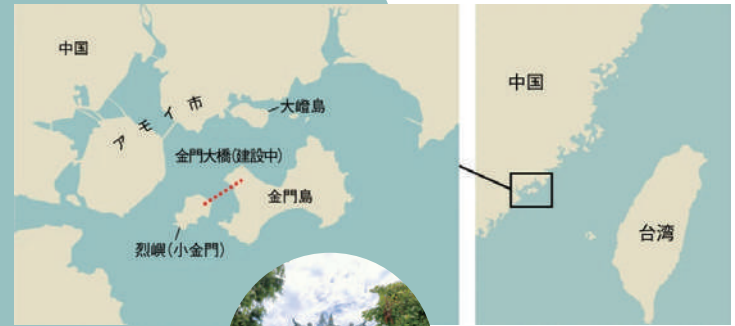
券 20名 催 10名 添

金門島

金門島は、西は中国大陸福建省の廈門（アモイ）市を間近に望み、東は台湾海峡を隔てて台湾島と約200kmの位置にあります。金門島の他に烈嶼（小金門）、大胆、二胆など15の島で金門群島と呼ばれています。そのうち3つの島は中国の直接統治になっており、台湾の金門県は12個の島々で構成されています。亜熱帯気候に属し、年平均気温はおよそ21度で、朝晩と日中の気温差が大きいのが特徴です。

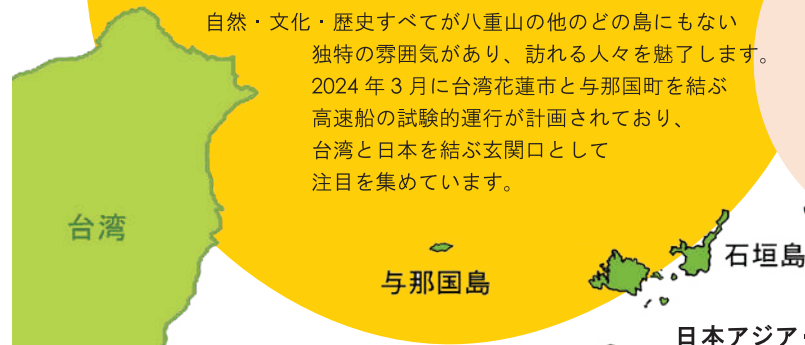
金門島は日中戦争中、日本軍に占領されていました。日本の降伏後、第二次国共内戦が勃発。金門島をめぐる戦闘「古寧頭戦役（こねいとうせんえき）」（1949年）は、戦後の中国と台湾の関係の出発点とも言えるのではないのでしょうか。中華民国政府が台湾へ移って以降は、中華民国軍の軍事的拠点となり、一般観光客の出入りは厳しく制限されます。島には当時最大約10万の軍隊が駐屯し、住民は軍事施設の建設などに動員されました。

台湾戒厳令解除後、現在は台湾島だけでなく中国からも多くの観光客が行き交う島となっています。島には多くの戦争遺跡が残され、歴史を伝えるため広く公開されています。かつての地下坑道、要塞、トーチカ、戦車、大砲などを見ることができ、歴史を学ぶ場として活用されていることが分かります。また、伝統的な古集落も金門島の見どころの一つ。独特な自然風景、台湾島とは一味違う料理をお楽しみいただけます。



与那国島

台湾から約111kmの距離に位置する与那国島。年に数回、台湾の山並みが見えることも。沖縄本島からは南西へ約509km、面積28.95km²。日本最西端、国境の島です。断崖絶壁に打ちつける荒波は力強く、自然・文化・歴史すべてが八重山の他のどの島にもない独特の雰囲気があり、訪れる人々を魅了します。2024年3月に台湾花蓮市と与那国町を結ぶ高速船の試験的運行が計画されており、台湾と日本を結ぶ玄関口として注目を集めています。



旅行期間

Aコース
 5月22日（水）～25日（土）4日間

Bコース
 5月22日（水）～27日（月）6日間

旅行代金 後日発表



石垣島

石垣島は台湾から336km、与那国島から127kmの距離に位置しています。西表島・竹富島などからなる八重山諸島の中心地です。お店で賑わう市街地と、風光明媚な郊外の2つの顔があります。美しいビーチや珊瑚の海が広がり、夜空や夕焼けの美しさも楽しめます。



日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会（日本AALA）70周年企画

台湾・与那国・石垣島—平和のための市民交流の旅—

自衛隊基地建設が進む南西諸島。かつて、与那国島出身の故宮良作氏が「尖閣諸島周辺は、中国、台湾、石垣の漁師は取る魚が違うから争いはなかった。煽る人たちは安全な場所にいる危険なのは自分たちだ」と言っておられました。沖縄を再び戦場にさせない市民交流の旅です。ぜひ、ご参加ください。

旅程

- ①【A・Bコース共通】午前：東京・関西空港発、台北へ 台北市内見学（二二八国家纪念馆など）【台北3泊】
- ②終日：台北市内見学や市民との交流（アマの家平和と女性人権館・国家人権博物館）
- ③終日：金門島への日帰り旅行（戦跡めぐり）
- ④午前：故宮博物院見学 【Aコース】午後：台北発 夜：東京・関西へ 【以下Bコース】（フェリー就航の場合）海路、与那国へ【与那国島泊】
- ⑤午前：与那国内見学・地元の方と交流 午後：石垣島へ、自衛隊配備問題について地元の方と交流【石垣島泊】
- ⑥午前：石垣島内見学（憲法9条の碑・戦争マラリア犠牲者慰霊碑など）、午後石垣空港発、帰郷の途へ

1

観光ブックには書かれていないサイパン・テニアン
の歴史・文化にせまる

脱植民地化への連帯を育む旅 サイパン・テニアン

募 20名 催 12名 添

Aコース（5日間）：2024年4月18日(木)～22日（月）サイパン
Bコース（7日間）：2024年4月18日(木)～24日（水）サイパン・テニアン

ご旅行代金 A：295,000円 B：335,000円 燃油別途

- ◇戦前の日本による統治、多くの住民や移民が犠牲となった日米の地上戦の歴史を地元の方の案内で学びます。
- ◇軍事化や気候危機の問題に取り組む市民団体と交流します。
- ◇カヌー建造など先住民の文化を体験します。
- ◇原爆を投下したB29が発ったテニアン。現在の米軍施設拡張の実態を学びます。

①【A・Bコース共通】夕刻：成田発 【サイパン A 6泊/B 4泊】
②深夜：サイパン着、ホテルへ 午前：休憩 午後：植民地の歴史フィールドワーク
③終日：戦跡めぐり、戦争博物館を見学
④カヌーセーリング体験、市民団体と交流
⑤【Aコース】早朝：サイパン発帰国の途へ 【Bコース】テニアンへ日帰り旅行
⑥【Bコース】オプションツアー（国定海中公園マニャガハ島へ）
⑦【Bコース】早朝：サイパン発帰国の途へ 午前：帰国



2

～フィリピンの
ピープルパワーから
学ぶ平和の旅～

フィリピン 市民と連帯交流の旅

2024年5月30日(木)～6月3日（月）

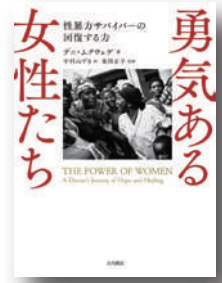
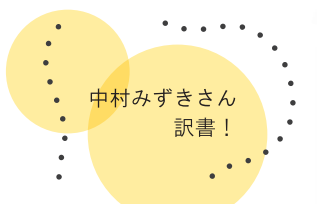
ご旅行代金 295,000円 燃油別途

募 20名 催 12名 添

- ◇非核フィリピン連合事務局長コラソン・ファブロスさんが同行・解説します。
- ◇スービック海軍基地跡の見学と基地撤去後の被害解決のために活動する方と交流。
- ◇日本軍侵略の歴史や日本軍「慰安婦」の実態について学びます。
- ◇フィリピンの伝統料理や音楽、豊かな自然もお楽しみ下さい。

①午前：成田発 マニラ市内の見学（フィリピンの歴史） 【マニラ泊】
②スービックへ、海軍基地跡の再開発地区見学と現地の方と交流 【スービック泊】
③市民運動で稼働をストップさせたパターン原発（外観）、「死の行進」モニュメント
④元日本軍「慰安婦」の方々や反核・気候活動家と交流 【マニラ泊】
⑤午前：自由行動 午後：マニラ発 夜：成田着

BOOK



『勇気ある女性たち
一性暴力サバイバーの回復する力』
デニ・ムクウェゲ 著／中村みずき 訳／米川正子 監修
2023年／太月書店

コンゴの紛争で組織的レイプに遭った女性たちを治療するムクウェゲ医師。心身を回復し、社会の構造や矛盾を理解し立ち向かう意思と力を身につけるサバイバーの姿に学び、司法制度や男性性の問題も含め、性差別克服を探究する。

2,750円（本体2,500円＋税）

3

「基地と観光の島」
でチャモロ人の
アイデンティティ
を学ぶ

グアムの歴史・基地・文化をめぐる 先住民との交流の旅

2024年7月3日(水)～7月7日（日）

ご旅行代金 295,000円 燃油別途

募 20名 催 12名 添



- ◇地元の方のご案内で、観光ブックには書かれていない歴史を学びます。
- ◇米軍基地の拡張の実態を学び、手つかずの自然が残るリテクザンの森を散策します。
- ◇先住民チャモロ人の文化や料理を楽しみ、地元の方と交流します。

①午前：成田発 グアム島内見学 【グアム4泊】
②スペイン・アメリカ・日本による植民地統治、日米の地上戦の歴史を学ぶ
③海兵隊基地キャンププラズ・実弾射撃訓練場の建設地に隣接するリテクザン
④自然と文化を体験する（カルチャーセンター、先住民の声を発信するNihistaスタジオ）
⑤午前：自由行動（オプションツアーあり）、午後：グアム発 成田着

脱植民地化への連帯を育む旅 事前学習会

- 第1回 2024年1月30日（火）14:00～
テーマ グアム、サイパン・テニアン
- 第2回 2024年2月17日（土）14:00～
テーマ フィリピン

講師 中村みずきさん

グアム、サイパンとテニアン、フィリピンでの植民地支配や日本の加害の歴史、現在進行する軍事化や人々のたたかいなどを、ツアーの魅力とあわせてお話します。オンラインと会場同時開催、後日録画配信あり。どなたでもご参加いただけます。（参加費1,000円）

グアム、そしてサイパン・テニアン、フィリピンへ 脱植民地化への連帯を育む旅

中村みずき
脱植民地化ツアー・コーディネーター
通訳・翻訳家、ライター

2018年から続けてきたグアムツアーに続いて、サイパンとテニアン（北マリアナ諸島）、そしてフィリピンへの旅を2024年に実施するため、現地の友人たちと企画・調整を進めています。

3つの旅に共通するテーマは「脱植民地化」です。長く大国の争いに翻弄され、戦争に巻き込まれ、大きな犠牲を強いられたそれぞれの地域。日本の加害責任も含めた植民地支配の歴史を、現地で学びます。

また、軍事化や気候危機など現在深刻化する問題は、そうした歴史と切り離すことはできません。さまざまな分野であきらめずに活動を続ける市民との交流を、どのツアーでも重視しています。まさに現地の人々と一緒に作る旅です。

昨年のグアムツアーに、アメリカから友人のシミオン・マンさんが参加してくれたことは、海を越えた連帯を築くという旅の目的のひとつについて、私自身の認識を深める機会となりました。

アジア太平洋の軍事化に反対するたたかいについての本を執筆中のシミオンさんは、すでに他の2つのツアーへの参加を決めています。真の脱植民地化に向けた、友情と連帯を育む旅へ。みなさんぜひ一緒にしましょう。



「グアムツアー参加者の声
「有意義なつながりと多くの学び」

私がこの旅の意義と訪問者としての責任を理解したのは、ツアーの3日目、宿泊したホテルの外で、先住民チャモロの方が私たちを招いて祖先への祈りを捧げ、今回の訪問への許可と祝福を願ったときだった。植民地支配の傷は、いまだアメリカ領とされているこの美しい島に取りついて離れない。私たちが学んだところでは、島の3分の1が米軍に占領され、日本政府が資金を一部負担して新たな米軍施設の建設が進んでいるため、死者さえ再び冒とくされる恐れがあり、安らかに眠ることができないのだ。

私たちが到着する数週間前にグアムを襲った台風マーワーの被害が、行く先々で目に入った。占領下での生活格差は、台風のせいでもより際立っていた。車で走っていると、ゴミ集積場に瓦礫を運ぼうと長い列を作る住民の車や、家屋や所有物の破片が積み上げられた山を目にする。道路を挟んで反対側にある米軍基地が無傷に見えるのは、まったく対照的だ。案内してくれた住民の中には、家の電気がまだ復旧していない人もいた。

島北端に位置するリテクザンに立つと、案内役のチャモロの方が、家族が何世代にもわたりそこで暮らしていたこと、建設が進む米軍の実弾射撃場によって、住民の生活が破壊されてしまうことを話してくれました。私はそれを聞いて打ちのめされたが、彼女がそのような痛ましい体験を繰り返さなければならぬということも、またショックだった。そう伝えると彼女は、それは「活動の一部」なのだと言った。学びの機会を提供し情報を共有するそうした活動は、得た知識を使って何らかの行動を起こし、帰国後も出来る限り闘い続けることを忘れないようにとの、私たちへの暗黙のメッセージだ。

このツアーで得られた最大の収穫のひとつは、日本と沖縄からの参加者に出会い、彼らがグアムを訪問した理由や、居住地での自衛隊基地の建設がもたらす問題、それぞれの場所の共通点や闘いについても学べたことだ。初のグアム訪問としてこのツアーに参加し、深く有意義なつながりと多くの学びを得られたことを、ありがたいことに感じている。

シミオン・マン
カリフォルニア大学サンディエゴ校
准教授（歴史学）

神秘の国ラオスを訪ねてみませんか

ベトナムとともにアメリカと戦い、1975年に真の独立を実現した小さな国ラオス。700万人ほどの住民が、日本の本州ほどの広さの高地に住んでいます。周辺の国々では少数民族と呼ばれるラオ族、タイ族、モン族、アカ族などの人々の国家です。伝統的な刺繍や織物で仕立てた民族衣装は目を見はるほどきらびやかです。

戦争中、ラオス王家の一員だったスファボン殿下やポンピット殿下は北東部サムネアの洞窟に身を隠し、米空軍の爆撃を避けながらラオス愛国戦線（パテト・ラオ）のリーダーとして抗米戦争を指導しました。ラオス国民の“聖地”となっているそのサムネアに、今は空路で訪れることができます。

首都ビエンチャンはタイとの国境を流れるメコン川に沿って築かれています。そこから少し北上すると、王宮のあるルアンパバーンがあります。美しい都です。食べ物は自然食で美味しく、観光地としてはまだまだあまり知られていない不思議の国ラオスです。一緒に足を踏み入れてみましょう。

なかもむら・ころろ・フォトジャーナリスト



BOOK



『記者狙撃—ベトナム戦争とウクライナ』
中村 梧郎著／2023年／花伝社

かつて、ベトナムの戦場で殺された日本人特派員がいた……
盟友の死から戦場フォトグラファーが見つめ続けた、「侵略の構図」。1979年、戦後の疲弊したベトナムに中国が侵略した「中越戦争」。この戦争を糾弾し続けた『赤旗』特派員・高野功は、35歳で銃弾に散った。現場に居た日本人報道写真家が向き合い続けた、侵略戦争の本質とは？ベトナム戦争とウクライナ侵攻に共通する「帝国主義的侵略」に、現場の視点から迫る！

1,870円（本体 1,700円）

戦争と地震を乗り越えて生きる

シリア難民の子どもたち

一般社団法人ピースセルプロジェクト代表理事 平丸久美子

朝10時、テキストを抱えた子どもたちがプレハブの教室に走りこんで来る。ここはトルコのアディアマンにある地震被災者の仮設住宅。居住しているのは皆シリア難民家族だ。ピースセルプロジェクト（PCP）が現地NGOと協力し、子どもたちに識字と計算の学習支援を行っている。子どもたちの家族は2011年から続くシリア内戦から逃れて難民としてトルコで暮らし、さらに昨年2月の大地震で被災した。PCPは直後の緊急支援の後、子どもたちの学びを支援している。子どもたちの中には15〜16歳まで一度も学校に行けずに働いている子もいるし、差別やいじめにあった子たちもいる。それでも彼らは明るく元気で、毎日、家の仕事を手伝い、残ったわずかな時間で勉強している。彼らのほとんどは、コバニやアレppoなど、空爆や地上戦などで激しく破壊された町の出身だ。トルコに来てから生まれたり、幼いころに避難したため戦争の記憶のない子たちも多いが、親たちは「あんな酷いことを子どもたちが覚えていなくてよかった」と語る。切ないのは、戦争前の暮らしは楽園だったと親たちが語る。ことだと現地スタッフは言う。仕事終わりに友だちとお茶を飲み、家に

帰れば家族がいる。そんな当たり前の幸福が根こそぎ奪われたのだ。戦争は命や生活、子どもたちの教育の機会さえも奪う。文字が読めず計算ができないと未来も閉ざされてしまう。学びの支援は急務だ。

昨年末には学びの支援の継続のためのクラウドファンディングを行った。夏にはアディアマンへのスタディツアーも計画している。子どもたちへの支援が広がることを祈らずにはられない。



ピースセルプロジェクト（PCP）の詳細は左記ホームページをご覧ください。
<https://www.peccellproject.org/>

ウクライナの戦争が長引く間に、こんどはパレスチナで大虐殺が起きる世の中です。今の世界はどうなっているのか、どうすればいいのかわかり不安がられる方もいるでしょう。じつとこもっていけば気がふさぐばかり。こんなときこそ自分の目で世界を見ることです。

半世紀も前、東欧を中心にロマ民族を訪ねる旅をしたことがあります。そのとき文化人類学の教授が「人類百万年の歴史で9万年は旅をしていた。旅は人間の本性だ」と語ってくれました。人は本来、旅をするもの。コロナ禍もとりあえず明け、国境を越えるとき、それは今です。

まずは地球の反対側コスタリカにいかがですか？戦争に進む世の中にあらがうように軍隊をなくした国です。平和憲法を文字通り実践したうえ世界に平和を広めている国を、実際にあなたの目で見つめてみませんか？難民をすべて受け入れて誰一人排除しない人権の国がこの地球上にあるんだ、幼稚園から平和教育を行い小学生から民主主義を教育する国があるのだと知って、うれしくなるでしょう。日本だってやれるのだと希望が湧きます。

夏はスイスへ。チャップリンが亡くなった旧邸は博物館になっています。彼の映画の足跡をたどり、チャップリン御用達のワイン蔵でワインを飲みませんか？右手に名水で名高いフランスのエピアンの山々を、左手にスイスのワイン畑を眺ながらレマン湖をクルーズするのは至福の時間。湖面で白鳥が迎えてくれます。アルプスに足を延ばして万年雪に覆われたアイガーやユングフラウの山脈を仰ぎつつ、一面に花が咲きほこる高原をトレッキングしながら「アルプス1万尺」を歌いませんか？（死ぬ前に）一度は見た風景です。

（伊藤千尋・ジャーナリスト）

2024年4月15日（月）～4月23日（火）
699,000円 燃油別途 募 25名 催 15名 添

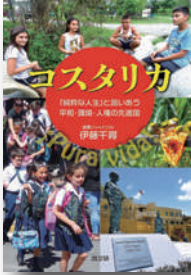
伊藤千尋さんと行く 憲法を活かす国 ～PURA VIDA～ 平和・環境・人権の先進国「コスタリカ」を知る旅 9日間

BOOK

『コスタリカ—「純粋な人生」といふあう平和・環境・人権の先進国』
伊藤千尋著／2023年／高文研

一つの国として平和のモデルを示したコスタリカ。本書は、中米の「小国」の選挙システムや憲法廷、教育・医療制度、環境保護活動などを紹介しながら、自由と民主主義、人権「大国」で育まれる人びとの意識を探る。そして、平和を少しずつ目に見える形にしているコスタリカにならない、日本の憲法9条をただ持っているだけでなく、9条を活かして世界に平和を広める努力を提言する。コスタリカを知れば希望が湧いてくる！

1,980円（1,800円＋税）



- ◇国会や選挙最高裁判所を見学し、民主主義の在り方を考えます。
- ◇自然エネルギー大国の政策や環境保護への取り組みを学びます。
- ◇学校訪問し、コスタリカの平和教育の実践を学びます。
- ◇コーヒー農園や希少な動植物の観察ツアーもお楽しみ下さい。

【旅程】

- ①午前：成田発、メキシコ経由、サンホセ着、伊藤さん講演会【サンホセ6泊】
- ②午前：国立歴史博物館 午後：学校訪問（平和教育を学ぶ）
- ③終日：サラピキで希少な動植物を観察
- ④午前：コーヒー農園 午後：自然エネルギーについてお話を聞く
- ⑤午前：国会・最高裁判所・憲法廷を見学 午後：大学生時に米イラク侵攻を支持したコスタリカ大統領を訴えたロベルト弁護士と懇談
- ⑥早朝：世界一美しい鳥ケツアール観察 午後：自由行動
- ⑦サンホセ発、メキシコシティへ、乗継時間でメキシコ観光
- ⑧経由地発【機中泊】
- ⑨午前：成田着

7日間 元ベトナム特派員鈴木勝比古さんが同行・解説 ベトナム縦断の旅 7日間

①2024年3月28日（木）～4月3日（水）
②2024年8月18日（日）～8月24日（土）
388,000円 燃油別途 募 20名 催 10名 添

- ◇化学毒薬やダイオキシンの枯葉剤で苦しむ元兵士や子どもたちが暮らす「ハノイ国際友好村」を見学
- ◇「海のホーチミンルート」著者ゲン・ゴックさんの講演
- ◇「海のホーチミンルート」秘密の船着き場があったフォックハイで、元船長の方と交流
- ◇世界遺産の街・ホイアンやベトナム初の都市鉄道、都市化が進むホーチミン市内を一望できるスカイデッキを見学

【旅程】

- ①午前：成田/関西発、ハノイ着 鈴木勝比古さん講演会【ハノイ2泊】
- ②ハノイ市内見学（ホーチミン廟など）、都市鉄道体験乗車、ハノイ国際友好村
- ③B52博物館、ハノイ発、空路ダナンへ、バスでホイアンへ、ゲン・ゴックさん講演【ホイアン2泊】
- ④ホイアン旧市街、午後：自由行動
- ⑤ダナンから空路ホーチミン市へ、統一会堂、戦争証跡博物館、スカイデッキなど【ホーチミン市泊】
- ⑥フォックハイへ、元船長の方と懇談、ホーチミン市へ【機中泊】
- ⑦午前：成田/関西着



負の歴史を学び、現在を知る
アウシュビッツを訪れるポーランド

2024年

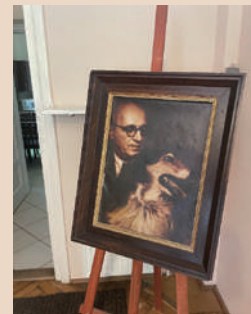
- ①4月23日（火）～4月30日（火） 555,000円 燃油別途
- ②5月21日（火）～5月28日（火） 555,000円 燃油別途
- ③6月25日（火）～7月2日（火） 555,000円 燃油別途
- ④7月23日（火）～7月30日（火） 595,000円 燃油別途
- ⑤8月21日（水）～8月28日（水） 595,000円 燃油別途

券 20名 催 10名 添

- ◇アウシュビッツ・ビルケナウ収容所をガイドのご案内でしっかり見学
- ◇実話を元に製作された映画「ユダヤ人を救った動物園」の舞台を訪ねます
- ◇隣国のウクライナから避難した方または支援団体のお話を聞きます
- ◇ワルシャワ・クラクフ両都市の見どころもしっかりおさえます

【旅程】

- ①羽田または成田発
- ②経由地 ポーランドのワルシャワ着、ワルシャワ見学（旧市街、ワルシャワ蜂起記念碑）【ワルシャワ泊】
- ③ワルシャワ市内見学（ワルシャワ蜂起博物館、ユダヤ人を救った動物園）、隣国のウクライナから避難した方または支援団体のお話【ワルシャワ泊】
- ④列車でクラクフへ。クラクフ市内見学【クラクフ泊】
- ⑤終日：アウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所見学【クラクフ泊】
- ⑥列車で再びワルシャワへ。午後自由行動【ワルシャワ泊】
- ⑦ワルシャワ発、経由地【機中泊】
- ⑧羽田または成田着



3月開講

川成先生連続講座 ハプスブルク家入門編

- ①2024年3月29日（金）14：00～16：00
- ②2024年4月12日（金）14：00～16：00
- ③2024年4月26日（金）14：00～16：00
- ④2024年5月10日（金）14：00～16：00
- ⑤2024年5月24日（金）14：00～16：00



『スペイン内戦と人間群像—戦場に赴いた知識人たちの光と陰』

川成洋 著／2023年／人間社

1969年夏、私はロンドン大学での英文学研究発表を終えて、フランスからフランコ軍事独裁のスペインへ向った。国境の町ポルトボウまでの列車は出稼ぎ労働者で騒がしかった。だが彼らは、国境の入国事務所では静かに縦列に並んだ。全員大型のグレーの風呂敷に私物を包んでいた。監視する治安警備隊員、国境警備兵、入国管理官の前の机上に包みを解くと中身は丸見えだ。係官は警棒で中味を吟味する。不愉快な瞬間。やがて私の番、ウイंकして指で通れという仕草をした。初めてのスペイン。マドリッド闘牛場で、なんとフランコの闘牛見物と遭遇。重装備の警備態勢。武力で権力を簞簞した者の姿だ。それから半世紀、私はスペインと付き合い、本書を刊行した。

3,960円（3,600円＋税）



参加費：全5回10,000円

講師：川成洋先生（法政大学名誉教授・一橋大学社会学博士）

テキスト：川成洋編著『ハプスブルク家を知るための60章』明石書店2,000円。※2024年2月上旬頃刊行予定です

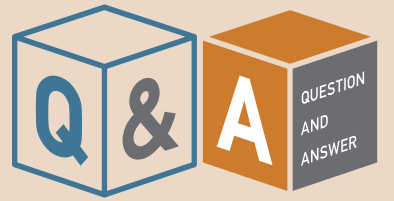
参加方法：会場（富士国際旅行社事務所）またはオンライン配信 ※録画視聴あり

ハプスブルク帝国という名前は聞いたことがあると思います。13世紀初頭から第1次世界大戦終了時までの長い歴史を持ち、その間の大部分は「神聖ローマ帝国皇帝」をほぼ独占的に輩出し、ヨーロッパの10余りの国を傘下に治め、しかもそれらを統治する家名をそのまま国名にしていたヨーロッパの唯一の国であります。今、家名が国名になっている国と云いましたが、信じられますでしょうか。具体的に超大国2例を出しましょう。19世紀から20世紀にかけて、「地球の土地の4分の1」を自国の領土にしていた大英帝国は、エグゼパート王（在位802～839年）を開祖とするウェセックス家から、現在のチャールズ3世のウィンザー一家まで、都合144王家が交代しています。またヨーロッパで最強国の誉れ高いフランスは、ペパン短軀王（在位751～768年）を開祖とするカロリング家からボナパルト家＝第2帝政（1870年）まで、都合13王家が交代しています。意外と脆弱な王家でした。それ以外のヨーロッパの国々は、地勢的にも陸続きのために絶えず戦争が続き、王家は一口で言えば、泡沫王家に過ぎませんでした。ハプスブルク家がどうして生まれ、覇権国家となったのか、勉強してみませんか。

（川成洋・法政大学名誉教授・一橋大学社会学博士）

坂本 龍太郎（さかもと・りょうたろう）さん

2010年からポーランド在住。ポーランドに多くいる避難民への支援、ウクライナ国内への物資や医療、救命支援に従事。



Q：ポーランドに住むことになった経緯と現在の仕事について教えてください。

A：アメリカやベラルーシの大学を経て、2010年からポーランドの大学院へ通うために移り住みました。そして2011年にワルシャワ日本語学校を立ち上げました。現在は日本語学校の教頭で、太鼓や書道など日本の文化をポーランド国内外で広める活動を行っています。

Q：何がきっかけでウクライナ支援を始めましたか？またどのようなことを行っていますか？

A：ウクライナで戦争が始まり、明日避難民が来るという差し迫った状況だったので、支援の具体的な内容を考えている時間はなく、体が勝手に動いていました。当初は自分の家の部屋を空けて、ウクライナ人が泊まれるようにすることから始め、行政の人と一緒に市民体育館を避難所として開設することや、簡易ベッド・毛布・シャンプー・服・靴・食糧など支援物資の用意を行いました。また、私は英語・ポーランド語・ロシア語が話せたため、ポーランド人とウクライナ人の間で通訳を行っていました。特に主な避難民出身地であるウクライナ東部と南部はロシア語を話す人が多かったためです。

Q：どんな想い・理由でウクライナ支援を続けていますか？

A：ロシア人にもロシア語を教わりましたし、今までいろんな人が私に言語を教えてくださいましたので、教わった言語を、人をつなげたり人を助け



たりすることに使い、社会に恩返しをしたいという思いで支援を続けています。恩返しを行うのは「今だ」と思っています。そして、東日本大震災時のトラウマを克服するためでもあります。

2011年東日本大震災の時、私はポーランドにいて、支援金を送ることしかできない、ただただニュースを見ながら泣くことしかできなかったことがトラウマになっていました。ウクライナとロシアで戦争が始まり、「今、悲劇は自分のところで起きている。できることは今動くことだ。東日本大震災の時と同じような悔しい気持ちがありました。」「ない。」という思いがありました。

また、「ポーランドなどの外国生活で私は、外国人で、歴史的にも文化的にも他国に住む”弱者”として暮らしてきたため、ウクライナから避難してきた人たちの気持ちが理解しやすいです。ロシア語とポーランド語が話せることもあり、ウクライナ人が外国人としてポーランドに避難したときに、どういう状況で困るのか、通訳が必要な場面などを経験上感じ取り、助けることができます。思い、支援しています。弱者の立場で周りの人に助けていただきながら暮らしてきたので、恩返しがしたいです。

私が今行っている活動を、「現在」の問題解決だけでなく、「未来」へつなげたいと考えています。杉原千畝やロシア革命の動乱でシベリアに取り残されたポーランドの孤児を日本が救出したポーランド・シベリア孤児などいろんな歴史を経て、ポーランドには日本に親しみを抱く人が多いです。今自分はその恩恵を受けて暮らしています。今度は

自分が動くことで、ウクライナやポーランドの人々に、地球の反対側の日本と善意でつながっていることを感じてほしい、日本・ポーランド・ウクライナの友好な関係につながりたいです。ウクライナ、ポーランドだけでなく、日本の将来の平和を見据え、支援活動を行っています。何もしいないことは、純粋に戦死した友人に顔向けができないということも支援を続ける理由の一つです。

の5月頃から減っていききました。ウクライナ人を受け入れていた家庭もありましたが、国からの受け入れ家庭への補助金は120日までしかでないため、補助金終了以降は滞在経費がまかなえず、各家庭での受け入れが難しくなり、避難民は自国へ帰るか、第3国へ行くか（現在ドイツが一番多い）、自立してアパートを借りて仕事を探すかを選択せざるを得ない状況です。しかし、自立はなかなか難しく、戦地へ帰る人が多いです。

Q：現在、ウクライナの人たちはどんなことを必要としていますか？

ウクライナとロシアの戦争への関心が減るとともに支援金も減り、支援活動も縮小せざるをえなくなりま。しかし、関心が減る、支援が減ることに反比例して、支援が必要なる人の絶対数は増え続けています。戦争が続いている限り孤児になります。子供を失う人、心のケアが必要な人、仕事を失う人が増えるという問題は大きくなる一方です。

もちろん物資の支援もほしいですが、世界からの関心が薄まっていることに一番危機感を持っています。世界中の人々が、この戦争を忘れず関心を持ち続けることを切に願っています。現在ウクライナ隣国のポーランドでさえも、関心が薄まっていることが深刻な問題です。

戦争開始当初は、家にウクライナの旗を掲げたり、物資を送ったりした人もたくさんいましたが、昨年

Q：ポーランドツアーに参加を考えている皆さんへ一言

A：ぜひ、ポーランドで直接現実を見聞きして、それを日本で発信していただきたいです。

またポーランドには悲しい歴史だけでなく、杉原千畝やポーランド・シベリア孤児など、心温まる歴史も多くあります。さまざまな歴史の中で、日本とポーランドのつながりを感じていただきたいです。



ネイチャーガイド長谷川久美子さん同行
ハワイの自然と文化を体感する旅 6日間

2024年6月13日（木）～6月18日（火）
580,000円（食事代各自現地払い）燃油別途 **券 6名 催 3名 ガ**

- <ポイント>
 ◇ハワイ島在住のネイチャーガイド・長谷川久美子さんが全行程に同行！
 ◇ハワイ島・ヒロにある長谷川久美子さんのゲストハウスにゆったり4連泊♪
 ◇ハワイ島に水鳥が住みやすい環境を取り戻そうと活動されている草刈りなどのボランティアに参加
 ◇ハワイ火山国立公園やカメハメハ大王像、カメハメハ大王が晩年を過ごしたカイルア・コナなど見学

①夜：羽田発、ホノルル経由ヒロ着、カメハメハ大王像【ヒロ・ゲストハウス4泊】
②午前：カイルア・コナ 午後：コナコーヒーリングヒストリーファーム、ブウホアヌ・オ・ホナウナウ国立歴史公園
③午前：ヒロでボランティア活動 午後：ファーマーズマーケット、イミロア天文学センター、アカカ・フォールズ州立公園
④ハワイ火山国立公園、キラウエア・イキ展望台、チェーン・オブ・クレーターズ・ロード
⑤ヒロ発、ホノルル経由
⑥夜：羽田着



科学的社会主義の創始者マルクス、エンゲルスのゆかりの地を訪ねる旅もイギリス、ドイツ・ベルギー、フランス編に続き、第4弾となります。

ベルリン 哲学への目覚め

今回のポイントの一つは、ドイツのベルリンです。マルクスはベルリン大学(現フンボルト大学)で学生生活を送ります。そこでヘーゲル哲学を深めることとなります。大学周辺や下宿跡などが見どころです。若きエンゲルスもベルリンの砲兵隊で兵役を務め、その際、ヘーゲル哲学にふれて、ベルリン大学で聴講して学んでいます。ベルリンは、彼らがヘーゲル哲学に目覚め、科学的社会主義の理論の土台をつくったゆかりの地です。

オランダ マルクスの母親の出身地

もう一つのポイントは、オランダの関連の地を巡ることです。マルクスの母はオランダ出身。母方の親戚の多くがオランダにいて、マルクスはよく親戚の家を訪問していました。ネイメーヘンには、マルクスの母親が住んでいた家に記念プレートがあるようです。またマルクスの両親はこの地にあるシナゴグ(ユダヤ教の信者の集会所)で結婚式をあげています。

マルクスの父親の死後、その財産の管理をおこなったのが、オランダにいたおじのリオン・フィリップ(マルクスの母の姉と結婚)でした。彼の息子、孫が、大企業に発展するフィリップス社を立ち上げています。ザルトボメルにフィリップス

家の住居が残っています。マルクスはリオンの金銭的援助を受けるために、訪問しています。

インターナショナルの活動で活躍したマルクス、エンゲルスは、1872年にオランダのハーグでおこなわれた大会に参加しています。1871年のパリ・コミューンの敗北後、インターナショナルは困難に陥り、72年のハーグ大会で本部をアメリカのニューヨークに移転を決め、インターナショナルの活動に事実上の幕がおろされることになりました。マルクスは、この大会終了後、アムステルダムでおこなわれた集会で演説しています。

現在、新しい『マルクス・エンゲルス全集』(新メガ版)が刊行されています。この編集にあたっては、アムステルダムにある社会史国際研究所です。マルクス、エンゲルスが書いたあらゆる文献、メモ、ノート、手紙がここに集められており、実はまだ未公開のものが多数あります。彼らの思想の全様が明らかになるのが待ち遠しいですね。

オランダといえ、江戸時代の日本と深いかわりがありました。「鎖国」と言われる時代でも、オランダとの交易は続けられました。日本の各地にも蘭学のゆかりの地があります。マルクスは、日本についてシーボルトの『日本』を読んで日本についての知識を得たといわれています。



スメタナ生誕200周年 開幕初日に鑑賞
プラハの春音楽祭とウィーン 9日間

2024年5月9日（木）～17日（金）
698,000円 燃油別途

券 13名 催 8名 添

1939年にナチスドイツに解体されたチェコ・スロヴァキアが再び独立を取り戻してから1年後の1946年5月、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団創立50周年記念として第1回の音楽祭が開催されました。約3週間にわたりプラハ市内で開かれる音楽祭のオープニングは毎年、祖国を代表する作曲家スメタナの命日である5月12日と決まっており、スメタナの連作交響詩「わが祖国」の演奏で幕が開かれます。2024年はベルリンフィルハーモニーによる5月12日の開幕コンサートにご案内いたします。さらには世界遺産の古都チェスキークルムロフとオーストリアのウィーンも訪れます。爽やかな5月のチェコとウィーンで芸術と音楽を楽しみましょう。



- ◇ベルリン・フィル演奏、スメタナの傑作「わが祖国」オープニングコンサートを開幕初日に鑑賞します
- ◇当社ならではの！テレジン強制収容所でチェコの歴史を学びます
- ◇芸術・音楽の都ウィーンと世界で最も美しいと言われる世界遺産の町チェスキー・クルムロフに滞在！

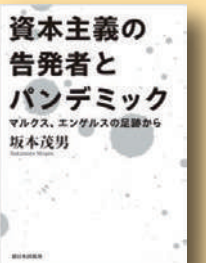
①夜：羽田発【機中泊】
②乗継 午後プラハ着 「わが祖国」第1楽章題材の地・ヴィシェフラド 【プラハ3泊】
③プラハ市内見学 (カレル橋・プラハ城・旧市街)
④自由行動 夜：「プラハの春音楽祭」鑑賞
⑤テレジン強制収容所、チェスキークルムロフへ【チェスキークルムロフ1泊】
⑥チェスキークルムロフ市内見学 ウィーンへ 【ウィーン2泊】
⑦ウィーン市内見学
⑧ウィーン発 乗継 【機中泊】
⑨夜：羽田着



マルクス・エンゲルスの足跡をたどる旅 9日間
ベルリン・オランダ編

2024年8月9日（金）～8月17日（土）
旅行代金：後日発表 **券 15名 催 10名 添**

①成田または羽田発、経由地、ベルリンへ 【ベルリン3泊】
②ベルリン着、市内見学 (ブランデンブルク門、ベルリンの壁、マルクス・エンゲルスフォーラムなど)
③ザクセンハウゼン収容所見学、自由行動
④空路オランダの首都、アムステルダムへ、アンネフランクの足跡をたどる 【アムステルダム4泊】
⑤社会史国際研究所、ナイメーヘン(マルクスの母の家、両親の結婚したシナゴグ)見学
⑥ザルトボメル(フィリップおじさんの家)見学、自由行動
⑦ハーグ平和宮(国際司法裁判所)見学
⑧空路、帰国の途へ
⑨成田または羽田着



『資本主義の告発者とパンデミック マルクス、エンゲルスの足跡から』
坂本茂男著／2023年／新日本出版社

「マルクスがコレラに感染!?」この事実には驚いた著者が、マルクスの『資本論』やエンゲルスの『イギリスにおける労働者階級の状況』から、コレラにかかわる叙述を調べ、彼らが19世紀のコレラ・パンデミックにどう向き合ったかを明らかにしています。イギリスでのフィールドワークも踏まえ、多数の写真を掲載しながら、彼らのゆかりの地を紹介。マルクス・エンゲルスの足跡をたどるのに欠かせない一冊です。

1,760円(1,600円+税)

5日間

～隠岐の島・中ノ島・西ノ島～ 隠岐諸島をめぐる交流の旅

- ①2024年6月23日（日）～6月27日（木）
 - ②2024年9月22日（日）～9月26日（木）
- 羽田発着：225,000円
伊丹発着：205,000円

募 25名 催 10名 添



- ◇島の歴史や文化・自然について学びます。
- ◇町おこしに取り組む中ノ島海士町を見学。地場産業や教育の取り組みを学びます。
- ◇西ノ島では、実話に基づく映画『ラーゲリより愛を込めて』の主人公・山本幡男氏ゆかりの地を見学
- ◇隠岐諸島ならではの自然景観・郷土料理をお楽しみください

【旅程】

- ①羽田✈伊丹✈隠岐空港、隠岐の島見学（自然観、地元の方から隠岐の歴史や自然についてのお話）【隠岐の島町2泊】
- ②隠岐の島見学（日露戦争と隠岐諸島の関わり、竹島問題を学ぶ見学地）
- ③フェリーで海士町へ。海士町の町おこしの取り組みを学ぶ。フェリーで西ノ島へ【西ノ島2泊】
- ④山本幡男ゆかりの地をめぐる
- ⑤フェリーで隠岐の島町へ。隠岐空港✈伊丹✈羽田

奈良

2日間

長谷川テルの足跡を訪ね 平和と人権を考える旅

- 2024年
3月14日（木）～3月15日（金）52,000円

募 20名 催 10名 添



- ◇「長谷川テル訪問記念の碑」見学
- ◇当時の奈良県民の闘いと治安維持法に基づく弾圧の実態を学びます
- ◇橿原神宮は、戦争のたびに拡張され、洞（ほら）部落は移転させられました。それらの経緯を現地で見学しながら、「平和と人権」を考えます

【旅程】

- ①近鉄奈良駅集合、般若寺、旧奈良監獄（外観）、奈良女子大学（外観）志賀直哉旧居見学【奈良1泊】
- ②神武天皇陵、橿原神宮、藤原宮跡見学 近鉄奈良駅着、解散

東京戦跡 フィールドワーク

東京大空襲・戦災資料センターを訪れる 戦災の記憶をたどる東京・下町戦跡めぐり

- 旅行期間 2024年2月23日（金）～2月24日（土）
- 旅行代金 39,000円

募 25名 催 15名 添

旅程

- ①東京大空襲・戦災資料センター集合、吉田館長・体験者からのお話、展示見学、センター周辺フィールドワーク（江東区役所前母子像「希い」、東陽公園）【木場泊】
- ②専用車で上野へ、上野フィールドワーク（時忘れじの塔・母子像、上野大仏（上野大佛）など）浅草フィールドワーク（戦災者供養・平和地蔵尊、浅草大平和塔など）、言問橋、横綱町公園 東京駅にて解散

3日間

東日本大震災から13年 「3・11」後の現場を見に行く福島の旅

- 2024年3月27日（水）～3月29日（金）
98,000円



募 25名 催 10名 添

- ◇企画者の田園調布学園社会科前教諭、川口重雄さんに全行程ご同行頂き各地の震災当時の状況や現在に関する情報をご案内いただきます。
- ◇東日本大震災から13年が経過した福島を訪れ、地元の方から震災地域の現状や復興状況をお聞きます。
- ◇地元のお魚や郷土料理をお楽しみください

【旅程】

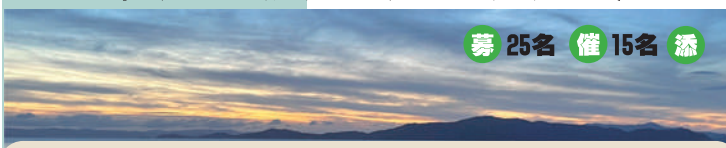
- ①午前：いわき駅集合、伝言館（宝鏡寺・早川千枝子さんのお話）東日本大震災・原子力災害伝承館、請戸小学校など見学【浪江町泊】
- ②おれたちの伝承館、飯館村（風と土の家、ふくしま再生の会事務所、凶凶倉庫など）【福島市泊】
- ③地産地消の営農型発電見学、葉ノ木平震災復興記念公園（地すべり被災地跡）、午後：新白河駅到着、解散

6日間

鹿児島・水俣・天草・長崎をめぐる 大人の学習体験旅行in九州

- 2024年6月4日（火）～6月9日（日）235,000円

募 25名 催 15名 添



- ◇国内ツアーでは最長の5泊6日！濃密なスタディツアーで九州を満喫
- ◇豊臣秀吉の朝鮮出征で連行された陶工沈家によって400年守り続けられてきた薩摩焼の名門、沈壽官窯を訪問します
- ◇水俣にたっぷり1日滞在、水俣病の過去と現在を考えます
- ◇天草で隠れキリシタンの歴史に触れます

【旅程】

- ①羽田✈鹿児島美山着 壽官陶苑、朝鮮人陶工上陸之地など見学【鹿児島1泊】
- ②専用車で水俣へ、百間排水口、おれんじ鉄道水俣駅・チッソ正門、茂道漁港、相思社考証館など見学、患者の方のお話【水俣1泊】
- ③（午前）蔵之元港 牛深港 天草へ 崎津天主堂、大江天主堂、天草キリシタン館見学【天草1泊】
- ④（午前）鬼池港 口之津港へ 原城跡見学、車窓から諫早湾潮受堤防見学、平和公園見学【長崎2泊】
- ⑤原爆資料館見学、軍艦島、山里小学校、二十六聖人記念館など見学
- ⑥名護屋城博物館見学、昼食後空港へ 福岡✈羽田

門前仲町 戦跡と歴史散歩＆ 吉田 裕館長と行く！靖国神社フィールドワーク

- 旅行期間 2024年2月25日（日）9:00～16:30
- 旅行代金 9,600円

募 25名 催 15名 添

旅程

- ①午前9:00【門前仲町 戦跡と歴史散歩】富岡八幡宮、深川不動尊など、昼食（深川のアサリ飯）午後【吉田館長と行く靖国神社フィールドワーク】館長のご案内で靖国神社境内を見学、遊就館見学（自由見学）16:30終了

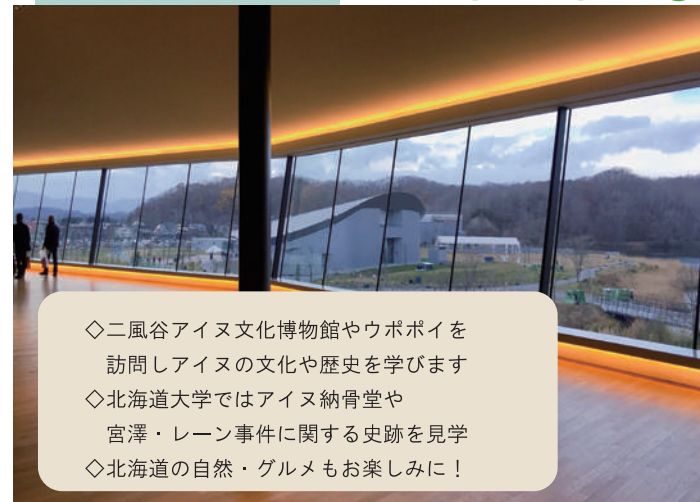
北海道

3日間

「人（アイヌ）」を通じ生きる エネルギーにふれる旅

- ①2024年5月28日（火）～5月30日（木）142,000円
- ②2024年8月27日（火）～8月29日（木）147,000円

募 20名 催 10名 添



- ◇二風谷アイヌ文化博物館やウポポイを訪問しアイヌの文化や歴史を学びます
- ◇北海道大学ではアイヌ納骨堂や宮澤・レーン事件に関する史跡を見学
- ◇北海道の自然・グルメもお楽しみに！

【旅程】

- ①羽田✈新千歳 平取町二風谷アイヌ文化博物館など【登別温泉1泊】
- ②知里幸恵銀のしずく記念館、白老町ウポポイ訪問【札幌1泊】
- ③北海道大学構内見学 新千歳✈羽田

3日間

自主防災を考える 熊本震災から学ぶ旅

- ①2024年4月14日（日）～4月17日（水）
- ②2024年11月17日（日）～11月20日（水）
175,000円

募 15名 催 10名 添



- ◇草の根目線の防災アドバイザー同行
- ◇熊本地震、豪雨災害地をめぐり、自主防災を考えます
- ◇天守閣が完全復旧した熊本城を見学
- ◇温泉とお食事もお楽しみください♪

【旅程】

- ①羽田発✈熊本 熊本地震震災遺構めぐり、防災アドバイザー講演会【阿蘇温泉泊】
- ②旧東海大学阿蘇キャンパス震災ミュージアム見学、益城町へ、益城町震災遺構めぐり、熊本市へ【熊本市内泊】
- ③熊本県防災センター、熊本城見学、人吉温泉へ【人吉温泉泊】
- ④人吉球磨地域豪雨災害被災地めぐり、球磨川くだり 熊本✈羽田

2日間

鶴橋とウトロを訪ねる 歴史と文化の旅

- 大阪
京都
2024年4月29日（月）～4月30日（火）
48,000円

募 20名 催 10名 添



- ◇大阪市生野区に昨年4月にオープンした、大阪コリアタウン歴史資料館を訪れます。
- ◇鶴橋に宿泊、かつて「猪飼野」と呼ばれた地域をフィールドワーク
- ◇2日目は京都・宇治のウトロ平和記念館を訪問、ウトロの歴史を学びます。

【旅程】

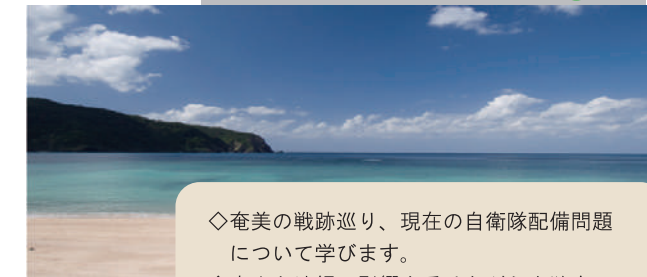
- ①鶴橋駅集合、大阪コリアタウン歴史資料館見学、生野区・猪飼野地区フィールドワーク【鶴橋1泊】
- ②ホテル発、京都・宇治へ、ウトロ平和記念館見学、ウトロ地区フィールドワーク、京都駅解散

奄美大島 歴史・文化・交流の旅

4日間

- ①2024年3月19日（火）～3月22日（金）
- ②2024年6月9日（日）～6月12日（水）
175,000円

募 20名 催 10名 添



- ◇奄美の戦跡巡り、現在の自衛隊配備問題について学びます。
- ◇本土と沖縄の影響を受けながらも独自の文化を築いた奄美文化を学びます。
- ◇奄美の郷土料理や黒糖焼酎を楽しみスローライフを味わいます。

【旅程】

- ①羽田✈奄美大島【奄美の概要を学ぶ】奄美パーク、田中一村記念美術館【奄美3泊】
- ②【奄美の戦争の歴史を学ぶ】古仁屋周辺の戦跡巡り、フェリーで加計呂麻島へ 安脚場戦跡公園見学、男はつらいよ撮影地、デイゴ並木など
- ③【現在の問題を学ぶ】陸上自衛隊基地周辺を見学、自衛隊配備問題について地元の方からお話、大島紬の工房を見学
- ④【奄美の自然文化を学ぶ】黒潮の森マングローブパーク、世界遺産センター、奄美大島✈羽田

世界自然遺産・広大なブナの原生林を歩く
白神岳登山と十二湖散策

①2024年6月16日(日)～6月19日(水)
②2024年9月8日(日)～9月11日(水)
182,000円 ※五能線のダイヤによっては日程変更の場合がございます。
詳細はお問い合わせください。

募 15名 催 5名 添



◇世界最大級のブナ原生林の大パノラマを満喫
◇日本海が目の前に広がる露天風呂・不老不死温泉と郷土料理をお楽しみください
◇人気ローカル線の五能線に乗って観光列車の旅

【旅程】
①午前：羽田✈️大館能代、藤里館、留山（原生的なブナ林）散策【深浦町3泊】
②白神岳登山（マテ山コース、往復約8時間）
③十二湖散策
④午前：人気ローカル線五能線の旅 午後：秋田✈️羽田

樹齢7000年の縄文杉に出会う
世界自然遺産・屋久島を歩く旅

①2024年4月21日(日)～4月24日(水)
②2024年5月12日(日)～5月15日(水)
③2024年7月21日(日)～7月24日(水)
④2024年10月6日(日)～10月9日(水)
204,000円

募 ①29名 ③④12名 催 6名 添



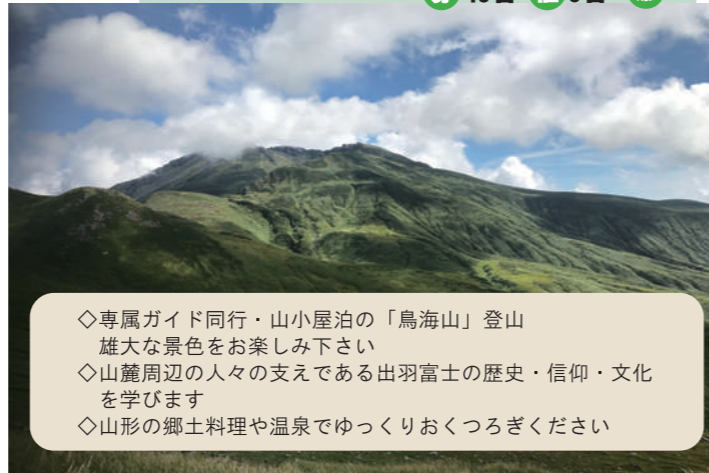
【旅程】
①午前：羽田✈️鹿児島から飛行機またはフェリーで屋久島へ、環境文化村センター【屋久島3泊】
②縄文杉コース（往復約8～10時間）
③OP（日本百名山の宮之浦岳・もののけ姫の舞台白谷雲水峡）
④午前：屋久杉自然館見学、地元の方からのお話
午後：屋久島から飛行機またはフェリーで鹿児島へ 鹿児島✈️羽田

◇専属登山ガイド同行・少人数で縄文杉コースを歩きます
◇3日目は選べるオプションツアー（宮之浦岳・白谷雲水峡）
◇屋久島の歴史や文化、環境保護について地元の方からのお話

高山植物の宝庫・日本百名山
鳥海山・月山トレッキング

①2024年7月28日(日)～7月31日(水)
②2024年8月25日(日)～8月28日(水)
173,000円

募 15名 催 5名 添



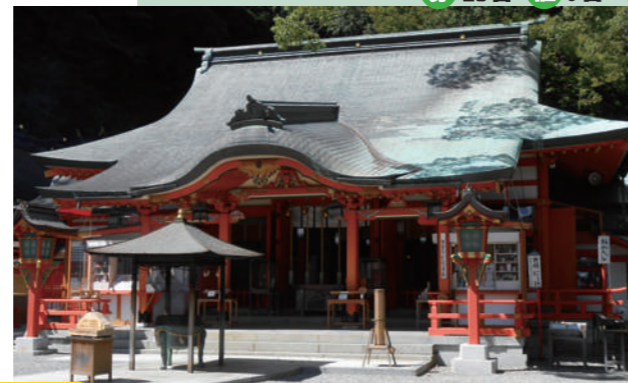
◇専属ガイド同行・山小屋泊の「鳥海山」登山
雄大な景色をお楽しみ下さい
◇山麓周辺の人々の支えである出羽富士の歴史・信仰・文化を学びます
◇山形の郷土料理や温泉でゆっくりおくつろぎください

【旅程】
①午前：羽田✈️庄内、獅子ヶ鼻湿原散策【鳥海温泉泊】
②鳥海山登山上り（高低差1100m、6km、往路：約5時間半）【山頂小屋泊】
③鳥海山登山下り（高低差1100m、8km、復路：約5時間）鶴岡市へ（藤沢周平記念館）【志津温泉泊】
④午前：月山登山（高低差約500m、9km、往復3時間）
午後：庄内✈️羽田

高野山の宿坊に泊まり、名湯に癒される
高野山と熊野三山を巡る旅

①2024年4月14日(日)～4月17日(水)
②2024年5月19日(日)～5月22日(水)
③2024年10月6日(日)～10月9日(水)
165,000円（現地参加145,000円）

募 20名 催 8名 添



【旅程】
①羽田✈️関西、高野山・奥ノ院見学【高野山泊】
②中辺路散策（6.9km徒歩約3～4時間）熊野本宮大社【川湯温泉泊】
③2コースから選択(1)中辺路ハイキング小雲取越コース(2)湍峡のんびり観光コース、両コースともに熊野速玉大社見学【勝浦温泉泊】
④熊野那智大社、吉野熊野国立公園、とれとれ市場、千畳敷、南紀白浜✈️羽田

◇高野山の宿坊に宿泊、精進料理もお楽しみに
◇中辺路散策では現地の語り部ガイドが同行
◇熊野三山（熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社）を見学



Nature

レブンアツモリソウの季節・稚内直便を利用！
レブンウスユキソウ

礼文島・利尻島 花散策
旅行代金：後日発表

募 20名 催 10名 添

①5月26日(日)～5月30日(木)
②5月28日(火)～6月1日(土)
③6月3日(月)～6月7日(金)
④6月15日(土)～6月19日(水)
⑤6月19日(水)～6月23日(日)

◇礼文島・桃岩展望台から利尻島を眺めながらゆったりハイキング
◇利尻島では姫沼やオタトマリ沼を含む島内一周観光
◇北海道ならではの新鮮なうに丼や海鮮料理もお楽しみください



①羽田✈️稚内 稚内港 船 礼文島【礼文島2泊】
②ゴロタ岬・花散策 約12km 約4時間
③午前：桃岩歩道・花散策 午後：礼文島 船 利尻島【利尻島2泊】
④午前：利尻島内観光 午後：自由行動
⑤午前：宗谷岬見学 午後：稚内✈️羽田

利尻島一周悠遊ランニング参加ツアー

2024年6月1日(土)～6月4日(火)
旅行代金：後日発表

募 5名 催 3名 添

◇日本百名山の利尻島を眺めながら島一周53.7kmにチャレンジ！
◇日本最北端の地・宗谷岬など見学
◇島の海鮮料理をお楽しみください♪

旅程
①午前：羽田✈️稚内、稚内港 船 鴛泊港、前夜祭参加【利尻島3泊】
②利尻島一周悠遊ランニング参加
③利尻島内見学（姫沼・オタトマリ沼）甘露泉水、ポン山登山（希望者のみ）
④鴛泊港 船 稚内港着、宗谷岬周辺見学 午後：稚内✈️羽田



乗って応援 宗谷本線
北海道鉄道の旅 札幌・豊富・旭川

2024年4月15日(月)～4月18日(木)
159,000円

募 20名 催 10名 添

◇北海道の最北鉄路、宗谷本線に乗って地元を応援！
◇日本最北の温泉郷豊富温泉にゆっくり2連泊
◇ほろのべ深地層研究センターを訪れ、核のゴミ処理問題について考えます

【旅程】
①羽田✈️新千歳、札幌市（北海道大学にて「宮澤レーン事件」について学習会）【札幌市内1泊】
②宗谷本線で札幌駅から豊富駅まで列車の旅。ローカル線宗谷本線を守る運動についてお話をお聞きします。【豊富温泉2泊】
③幌延深地層研究センター、サロベツ原野、稚内駅周辺見学
④宗谷本線で豊富駅から旭川駅へ列車の旅。旭川市（三浦綾子文学記念館、旭川自衛隊駐屯地）見学、旭川✈️羽田

